

---

# 東崎山だより 令和2年2月号 通刊145号

355-0044 東松山市正代755-1 電話 0493-34-3706(6555) FAX 0493-34-6555  
email: semyojuji@yahoo.co.jp HP: tosaki.web.fc2.com/index.htm 携帯 090-2446-5209

---

## 中道(ちゅうどう)を行く

アナトール・フランスというフランスの小説家の語ったお話です。

あるところへ妖精がやってきました。

「これがあなたの運命なんですよ」

と、妖精が1つの糸まりを取り出した。糸まりを早く引っ張れば時間はサーッと早く流れる。ゆっくり引っ張れば時間はゆっくり流れる。引っ張らなければ、時間はそのまま止まっている。子供に不思議な糸まりが渡されました。

糸まりをもらったその子は、すぐに大人になりたくて、糸まりをどんどん引っ張った。早く学校を出たいと思って、どんどん糸を引っ張った。そして、大人になり、恋人に出会った。恋人に出会うと、早く結婚したくて、どんどん糸を引っ張った。結婚したら、子供が欲しくなって、またどんどん引っ張った。そのうちに歳をとってきた。すると、老年が耐え難くて、糸を引っ張った。病気になったら、早く治りたいというので、また引っ張った。

かくして、その子は、妖精から糸まりをもらってから4か月と6日で亡くなった。

これは、結果第一主義で生きていけば、この長い人生が4か月と6日ぐらいの意味にしかならないことを教えてくれています。結果としてどうだったか、ではなく毎日をどう生きているか、どう生きるべきかが問われています。

仏教には「精進」という言葉がありますが、「努力」と意味ですね。一心に修業することを精進と言います。

精進とは努力の意味ですが、仏教では何が何でも努力すればいいとは言っていません。むしろ努力のしすぎを戒めています。

血眼になってする努力は、いわば執念・執着であってそうしたものを嫌います。「ゆったりとした努力」を続けることを教えています。

たとえば試験勉強を考えてみます。

普段は怠けて遊んでいた者が、試験の前になって勉強を始める。そうすると習ったところをちゃんと理解していないためによく分からない。どうしてそうなるのか分からないのです。その結果、答えを丸暗記する羽目になります。

うんうんうなりながら徹夜することもあるかも知れませんが、運良く丸暗記したところが試験にできればまあまあよい点は取れるでしょうが、試験が終われば忘れてしまう事が多いのではないのでしょうか。要するに徹夜の暗記という努力は本当の精進ではありません。

日本人はとかく1つの目標に向かって寝食を忘れて死にもの狂いの精進をする、そんな努力が好きです。

なるほど、中途半端な気持ちでは、定めた目標が達成できないかも知れませんが、それは死にもの狂いにならなければ達成できないような、そんな目標を設定したのが間違っているのだと思います。

大学受験で、睡眠時間を切りつめて、高校3年間で灰色の毎日を送りつつ受験勉強をしなければ合格できないような、実力不相応の大学を選んだのが間違いかも知れないということでしょう。もちろん、怠けてばかりいてはいけません。地道なゆったりとした継続的な努力が望まれます。死にものぐるいではなく、駆け足でなくゆったりとした努力、それを「中道」といいます。

温かい心、人間らしさを失わずに生きるための生き方です。

## ■節分会 2月3日 午後2時 本堂 ～節分 1年に4度めぐる季節を区切る1日～ 一緒に豆を撒いて邪気を追い払きましょう。

4度めぐる節分ですが、春の節分だけなぜ特別なのでしょう。

それは、旧暦では、春の節分が大晦日だったから。年越しの行事だったのです。そもそも「豆まき」は宮廷では、1年の厄を祓うために行われた「追儼(鬼遣らい)」という中国伝来の儀式が起源となっています。鬼を厄の化身となったのは、伝染病や自然災害といった自然の脅威は目に見えないため、「隠(おに)」としたからです。

なお、豆まきの起源は、室町時代以降と考えられています。邪気を祓うために「魔(ま)を滅(めつ)する」通じる豆を使った「豆打ち」という儀式が寺社で行われたそうです。鬼退治に使った豆から芽が出てしまうと縁起が悪いため、必ず炒った豆を使うのが決まりになっています。



### ＜豆のまき方＞

- 1 夜に窓を開けて「鬼は外」と唱えながら豆を2回まく
- 2 次に「福は内」と唱えながら室内に2回まく
- 3 奥の部屋から開始し、最後に玄関でまく

## ■禅をきく会①

「禅をきく会」では、広く「禅」に親しんでいただく行事として、著名な講師による講演やいす坐禅の体験を行っています。入場無料ですので、ぜひご来場ください。

●日時 2月5日(水) 16時開会 20時20分閉会

●主催 曹洞宗宗務庁

●会場 有楽町よみうりホール 千代田区有楽町1-11-1

●プログラム

○第一部 講演 青山 俊董 老師 愛知専門尼僧堂堂長

○第二部 映画「典座-TENZO」上映

対談 青山 俊董 老師映画監督 富田 克也 さん 出演者 川口 智賢 さん

## ■禅をきく会②

●日時 3月6日(金) 13時10分開会 16時40分閉会

●主催 曹洞宗関東管区教化センター

●会場 大宮ソニックシティ大ホール

●プログラム

○第一部 講演1「当たり前の中にあつた大切なもの」～それぞれに出来る一步を～  
講師 岩崎 順子 さん (いのちの講演家)

○第二部 講演2「禅に学ぶ愉快的な生き方」

講師 藤田 一照 老師 (元曹洞宗国際センター所長)

## ■今月の予定

●寺子屋 1, 8, 22, 29日 \*15日は休み

●坐禅会・写経会 9, 23日 坐禅：7時 写経：8時

●節分会 3日 本堂；午後2時

●涅槃会(お釈迦様が入滅された日) 15日(朝課にて法要) \*涅槃図を掲示します

■年回忌法要年に当たっている仏様が祀られている家には、関係各家にご案内をさせていただいております。法要日時等は、できるだけ早めにご相談下さい。